



# 風は海から

令和3年4月30日  
令和3年度  
横浜市立西富岡小学校  
学校だより5月号 No.2

## あいさつは「魔法の言葉」

横浜市立西富岡小学校  
校長 黒田 由希子

新年度がスタートして1か月経ちました。春の陽気に誘われ校庭に出てみると、藤棚の藤の花が満開でした。昨年の今頃は緊急事態宣言が発令され、休校となってしまっていましたので、教室から、校庭から、子どもたちの元気な声が聞こえてくるのはうれしい限りです。新しい教室、新しい友達、新しい教科書。新年度は、子どもたちだけでなく、私たち大人も心がわくわくしてきます。



西富岡小学校では、子どもたちに「挨拶」と「人の話をしっかり聞くこと」に重点をおいて指導しています。それはどちらも人と人とのコミュニケーションの根幹をなすものだと思うからです。着任以来、毎朝、門で子どもたちを迎えています。西富岡小学校の子どもたちは、しっかり挨拶をしてくれる子が多く、素晴らしいと思いました。「おはようございます。」と声をかけたときに、笑顔で元気よく挨拶を返してもらえると、朝からとてもさわやかな気持ちになります。「挨拶は、人と人をつなぐ「魔法の言葉」です。本校の教育目標の中にも「様々な人やものに自分から進んでかかわり、それらを大切にしようとする態度を育てます」という項目があります。進んで挨拶をすることは「かかわり合う力」＝「コミュニケーション力」育成の第一歩だと考えています。先日の朝会でも子どもたちに「あいさつ名人になろう」という話をしました。「あいさつ名人」になるには、「あ 相手の目を見て い いつも笑顔で さ 先に自分から つ 続けよう毎日」の挨拶ができることです。そのためには、まず大人である私たち教職員が率先して範を示し、子どもたちに声をかけていくことを確認しました。子どもたちの挨拶の輪が広がっていくよう、ご家庭でも、子どもたちに挨拶を促す声かけをしていただけますと幸いです。ご協力の程よろしく願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大はまだ予断を許さない状況です。今年度初めての授業参観は、「密を避ける」という観点から残念ながら中止という選択をさせていただきました。横浜市は現在「まん延防止等重点措置」の対象区域に指定されており、今後も感染症の状況によっては、行事の変更や中止・延期のお願いをすることがあるかと思えます。しかし一方で、子どもたちの貴重な学びを止めてしまうわけにはいきません。横浜市から出されているガイドラインに則り、必要な感染症対策を施しながら、よりよい方法を判断していきたいと思えます。保護者、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動を温かく見守っていただけますと幸いです。どうぞ、よろしく願いいたします。